



### その他の主な行事

七五三詣り 10月中旬～11月 

写経・写仏 7、9、11月の1日 ついたち  
午前10時より 参加費 一回千円 

秋の法話会 十月二十四日(日) 無料  
午前10時より約30分間

### ご祈祷のご案内

家内安全・開運厄除・商売繁昌・息災健康  
病気平癒・交通安全・合格祈願・心願成就  
仕事円満・安産祈願・初まいる・七五三詣りなど

**特別祈祷** —— 不動堂にて、毎日(9～15時半)  
電話、HP等で予約。

**郵送祈祷** —— ご祈祷した御札を送ります。

ホームページからも〈御祈祷予約〉  
〈郵送祈祷申し込み〉をして頂けます。

### 花暦

夏～初秋

 ユウスゲ	 ヤブカンゾウ	 キキョウ	7月
 フヨウ	 スサザリ	 トウチイラン	
 ツリフネソウ	 白萩	 ツリガネニンジン	8月
 ワレモコウ			9月



灯ろう流し **大文字**は実施。如意寺前の海岸のみで行います。  
祈願および先祖供養のため。ご自分でも流せます。7/1より本堂・受所でも可。一件 五百円

灯ろう流し 午後七時半  
寺の前の海で

特別護摩祈禱 午後七時～  
7/1より予約受付。当日も受付。  
一件 千円(お札はありません)  
直接、電話・FAX・メールでお申し込みください。  
来られない方には、郵便振替用紙を送ります。(昭和初期頃)

特別護摩祈禱 午後七時～

千日会法要 午後七時～

八月九日(月)

千日会

如意寺本尊会  
せんいちえ



近くの町なみに

新しいお店が2件できました！！

豆腐かふえ

もりのさんぽみち

平日のみ営業(土・日・祝 = 休業)

日替わりランチ(800円)、  
カレーライス(700円)、  
販売: 手づくり豆腐、ケーキ、  
クッキー、煎餅、おから

(旧久美浜役場建物。駅から100m)



THE SPICE

木曜=休業

3種のスパイスを活用し、見た目も味もバリエーションも豊か。ビールも各種。大正時代の3階建ての風情ある料理旅館と現代の味が見事にミックス。

(久美浜小学校から300m東)



(駐車場: 北都信用金庫久美浜支店ヨコの市営駐車場から徒歩1分)

LITTLE BUDDHA

リトルブッダ

葉 祥明 絵文  
(佼成出版社)  
釈尊の悟りが子供にもわかる平易な和文と英文で優しく紡がれます。

ほくはいのる

ほくにいじわるをするひとが  
じぶんのなかのやさしさにきづきますように

ほくはいのる

そのひとのしあわせのために

ブッダがせんせい

宮下真 著 (永岡書店)

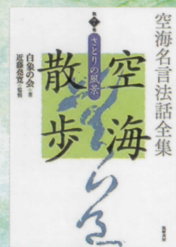
お子さんやお孫さんに！

子供に教えたいブッダの“言葉”を集め、分かりやすく解説。

おこらないことで、おこる人にかとう。うそをつかないことで、うそをつく人にかとう。

空海散歩 (筑摩書房)

現在7巻まで刊行。  
高野山系住職が執筆し、如意寺住職も参加。  
弘法大師の名言をテーマごとに分け、解説とわかりやすい法話が付された名言法話集です。



本の紹介





いんがいちによ  
「因果一如」のこと

「そんな所にゴミを捨てたら、後でバチが当たるよ」と言いますが、そうではありません。そんな所にゴミを捨てる行為が、すでに人間としてバチが当たっているのです。子犬を助けたことにより、他の何かよいことが生じるのではなく、子犬を助けたこと（因）が、よい報い（果）そのものです。満員電車の中で席を譲るのは、勇気のいることです。にもかかわらず、良心のおもむくままにスッと席を譲れた行為そのものが、すぐれた行為であります。その人の積み重ねてきた陰徳が、虹のようにさっと現れた瞬間と言えましょう。これって、仏さまと同じですね。どこがちがうでしょうか。「因果一如」といいますが、因果は別々のものではなく、善いことができたこと自体が、善い報いそのものなのです。

如意寺住職著『花寺和尚の苦を樂に生きる』（佼成出版社）より

※楽天、アマゾン、最寄りの書店にご注文ください。¥1500円。

お寺では割引販売します



## 如意寺の歴史②

～昭和～

宮大工・中村淳治棟梁のこと(その2)

平成14年(2002)、如意寺仁王門の金剛力士像2体の大解体修理(於:京都国宝修理所美術院)記念として『寺院建築と中村淳治棟梁の思い出』という小冊子を出版し、棟梁の事績や思い出を記した。大阪・奈良・兵庫・京都の各府県で約70の堂宇を改築・新築した中には、国宝三十三間堂解体修理、重文大覚寺寢殿、東寺南大門を始め、近くでは天橋立智恩寺の重文多宝塔、峰山の金刀比羅神社の神門も含まれる。棟梁は昭和25年に焼けた金閣寺再建チームにも招聘されていたが、当時の如意寺住職が山門修理を依頼したため、棟梁は無断で金閣寺を離れて帰郷されたことがあとで判った。住職は「知っていれば・・・」と悔やまれた。棟梁は、昭和44年に「現代の名工」として労働大臣賞を受賞された。温厚、寡黙、仕事に厳しく義理人情に厚い。まさに明治の職人という趣だった。当寺はほとんどの堂塔を手がけていたが、その最後が和洋唐様天竺様、三様融合の重層宝形造・如意寺「不動堂」の新改築(昭和59年)だった。一年に何度かの寺の縁日には、棟梁の下で働いていた大工さん達が手伝いに集まり、酒席は必ず棟梁の話で盛り上がる。だれも棟梁の思い出を話すのがうれしくて誇り高くてたまらないというように。亡き後、これほど偲ばれる人物は少ないのではないかと、私はよく思うのである。



建造中の不動堂

- 沢木興道老師「家も財産も名誉もない人生が人間の理想である」  
相手 「成功されましたな」

### ことば

- 「少住為佳(しょうじゅういか)」

ちょっと一服すればいい。人間をちょっと一服したのが仏じゃ。  
人間がエラクになったのが仏じゃないぞ。(沢木興道老師)



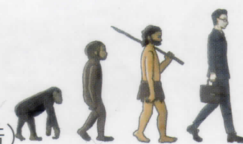
沢木興道…明治から昭和を代表する曹洞宗の僧侶

### ちよつとひと息

娘が5歳のとき。

「おばあちゃん、じいちゃんは昔、サルだったの？」  
「そうだけど、もっともっと昔のことなんだよ」  
「ふ～ん、それで体の毛はいつとれたのかな」

(某新聞の読者欄より拝借)



SNSでも花情報や行事など発信しています。  
ぜひごらんください。



kumihama.nyoiji

### ホームページ

遠方でなかなかお参りできない、  
コロナで控えている、等の方は  
HPからでもご祈禱や護摩の申し込み、  
授与品のお求めができます。

<https://www.nyoiji.com/>

